

## 1 活動の概要

5月24日（金）、出雲市立久多美小学校の6年生のみなさんと『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

担任の先生から、埋文職員を紹介していただいた後、さっそく久多美小校区内の古墳時代の様子について勉強しました。まず、古墳の形などを勉強し、古墳が作られた地域は有力な人物が治めていたムラがあった地域だったことを学びました。久多美小校区内にはたくさんの古墳があることを知り、児童のみなさんは驚き、まだ発見されていない古墳もあるかもしれないと聞いて、「自分たちで見つけよう」と興味津々でした。古墳の内部や副葬品について話を聞き、代表的な副葬品の勾玉について詳しく勉強しました。実際に古墳から出土した土器を間近に見たり、触れたりしながら学びました。

いよいよ勾玉作りです。みなさん一生懸命に石を削って、磨いてピカピカの勾玉を完成させました。今回の学習を通して、児童のみなさんは、古墳がたくさんある古代の久多美の様子に想いを馳せてくれたようです。

## 2 活動の様子

### 古墳時代の久多美について学ぶ



久多美地域は古墳がいっぱい！



古墳から出土した土器かあ～！

### 勾玉作り体験



根気強く、削っています。



仕上げの磨きです。



だんだん、光ってきたぞ！

1時間近く根気強く削って磨いて、ピカピカの勾玉が完成しました。本当の勾玉の石はもっと硬い石です。古代の人の苦労を考えながら体験活動をすることができました。